(2) 給水申込納付金

_ ` _ /	dadan 1	~	_				1	
口径	行年月日	昭和48. 4. 1		昭和51.4.1 (現行)	平成元. 10. 1	平成9.10.1	平成26.4.1	令和元. 10. 1
1	3 mm	30, 000	円	100,000 円	左表の額に	左表の額に		左表の額に
2	.0	60, 000		270, 000	100分の103	100分の105	100分の108	100分の110
2	:5	130, 000		460, 000	を乗じて得 た額とす る。	を乗じて得 た額とす る。		を乗じて得 た額とす る。
4	.0	430, 000		1, 400, 000				
5	0	740, 000		2, 500, 000	3 °	3 °	<i>•</i> 0 ∘	. 0°
7	5	2, 000, 000		6, 700, 000				
10	0	4, 000, 000		14, 000, 000				
15	0	11, 000, 000		38, 000, 000				
20	0	φ200以上局長が		78, 000, 000				
25	0	定める額		138, 000, 000				
30	0			219, 000, 000				
35	0 以上			ϕ 350以上局長が				
				定める額				

(3) 開発負担金

口径	施行生	年月日	昭和51.4.1(現行)	平成元. 10. 1	平成9.10.1	平成26. 4. 1	令和元. 10. 1
建築	钅物 負	担金	計画一日最大給水量に1㎡当 たり130,000円を乗じて得た 額	の103を乗じて 得た額とする。 ただし、その額	左表により計算した額に100分の105を乗じて得た額とする。 ただし、その額に	た額に100分の108 を乗じて得た額と する。 ただし、その額に	左表により計算した額に100分の110を乗じて得た額とする。 ただし、その額に
宅均	也負:	担金	造成面積に1㎡当たり650円を 乗じて得た額	数があるとき は、これを切り	10円未満の端数が あるときは、これ を切り捨てるもの とする。	あるときは、これ	10円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとする。

- (注) 1. 建築物負担金の建築物とは、計画1日最大給水量5㎡以上の建築物をいう。 2. 宅地負担金の宅地とは、公共用地を除く面積が1,000㎡以上の宅地をいう。

27. 量水器使用料の変遷

(単位:円)

口径	施行年月日	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和
		11. 5. 19	21. 3. 1	21. 11. 1	22. 9. 1	23. 9. 1	24. 9. 1	27. 1. 1	31. 4. 1	35. 4. 1
	13 mm	1			4	9	13	20	26	
	16	_	_	_	6	13	13	20	26	
	20	_	_	_	8	17	17	35	46	
	25	_	_	_	10	22	22	40	52	
	30	_	_	_	20	44	44	55	72	廃
	40	_	_	_	40	88	88	100	130	
	50	_	_	_	60	130	130	200	260	止
	75	_	_	_	80	175	185	290	377	
	100	_	_	_	100	220	250	350	455	
	100 以上	_	_	_	200	440	440	(150mm) 640	832	
								(200mm) 1,000		